

○ 砂防事業の実施状況について

砂防事業の実施状況について報告しました。



・砂防ダムは人命や財産を救うという面と、自然環境を破壊している面があるということ
ことを一般市民はよく知らないと思うのですが、この地域でも自然環境を破壊して
いるようなマイナス面があるのでしょうか。

事務局

・現在は、横断構造物に魚道を設置して魚の遡上を確保する取り組みや、水生生物
の生育環境を評価した上で施設計画を検討するなど、極力環境へのマイナス面の
負荷を小さくとどめる努力をし、勉強しながら少しでもレベルアップしたものを
求めつつ事業を進めています。

・最近、流砂系という言い方で流域全体を見ないといけないという考え方で、山地か
ら河口まで全体を見た研究が出てきました。これは、砂を止めてもいけないし、流
してもいけない、その被害が出るとか出ないとかいろいろありますので、単にこの
辺がいいという一つの答えがあるわけではありません。ですから、その流域に合わ
せたいろいろな取り組みが進んでいると思います。一概に今の形、庄内川の形が
おかしいという結論ではなしに、広く見ていくことが大事かと思えます。



・砂防の河川への影響については、土砂流出（微細粒子流出を含む）の観点から整理
しておいていただきたいと思えます。

次回の予定について

平成16年3月初旬開催予定です。

「土岐川庄内川の現状と課題」（課題のとりまとめ・課題に対する対応の方向性）を議題と
する予定です。

編集後記

今回は、環境、利水、人とのかわりに関する現状と課題が議論の中心であった。水質悪化、
生態系の保全、高水敷等の河川空間の利用の問題について活発な意見交換が行われた。これらの
課題は地域懇談会でも関心が高く、河川整備計画の策定を進めるうえで、重要なポイントの一つ
である。持続可能な流域社会の発展に寄与し得る整備計画の議論にしたいものである。

(副委員長 松尾 直規)



土岐川庄内川 流域委員会通信

VOL.3

監修/土岐川庄内川流域委員会
発行/土岐川庄内川流域委員会事務局
国土交通省中部地方整備局 庄内川河川事務所
462-0052 名古屋市北区福德町5-52 TEL. 052-914-6711
フリーダイヤル 0120-4071-41
ホームページ ● <http://www.cbr.mlit.go.jp/shonai/>
メールアドレス ● shonai@cbr.mlit.go.jp

土岐川庄内川流域委員会に関して詳しく知りたい方は、庄内川河川事務所ホームページをご覧ください。これまでの経緯や、会議資料、議事抄録等を掲載しています。

土岐川庄内川 流域委員会通信



VOL.3

発行日：平成16年2月23日

土岐川庄内川流域委員会の議事内容と、関連情報をお知らせしていきます。

第4回 土岐川庄内川流域委員会が開催されました

開催日時

平成15年12月15日(月) 14:00~17:35

会場

名古屋通信会館 3F 桐楓の間

◇ 第4回土岐川庄内川流域委員会審議内容

○ 地域懇談会の実施状況について

土岐川庄内川コレカラプロジェクト地域懇談会の実施状況について報告しました。



市民意見交換会・川歩き H15.11.16



・市民の意見の中で幾ら数が多くても、
委員会は独立した考えを持ち、その判
断に影響はされるべきものではありませんが、河川整備計画は市民の幸福を
増進するためのものであり、市民の意
見を軽視することなく、大いに参考と
するのがよいと思えます。



・市民の意見は量的なものでは評価しきれないものもあり、少数意見であっても、委
員の印象を変えてしまうような非常に重要な意見もあるかも知れません。そのよ
うに考えると、意見のとりまとめや集約はとても難しいことであると思えます。



・出てきた多数の意見の性質をよく考えるとよいと思えます。必ずしも地域住民、市
民の総意では無いことが多分にあり得ます。このような形で集められた積極的な意
見を件数やボリュームという点から整理して、代表的な意見かどうか賛否を取ると
かチェックをしたらどうでしょうか。



市民意見交換会・川歩き H15.11.16

・ある程度出てきた意見がまとまった段
階で、今度は積極的に意見を聴きに行
きたいと思えます。いままで集約した
意見を整理して、提示するような形式
での聞き取りなどがあると思えます。
今後も継続して議論しましょう。

